

みずほCustomer Desk Report 2017/01/04 号(As of 2016/12/30)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	116.53 AUD/USD
TKY 9:00AM	116.33	1.0566	122.93	1.0172	1.2285	0.7237
SYD-NY High	117.20	1.0652	123.87	1.0231	1.2388	0.7249
SYD-NY Low	116.05	1.0485	122.25	1.0025	1.2247	0.7199
NY 5:00 PM	117.07	1.0522	123.00	1.0186	1.2328	0.7199
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	12.605/13.63		Δ25RR	1.040	Yen Call Over	

NY DOW	19,762.60	▲ 57.18	債券市場	日本2年債	-0.1800	▲1.4bp
NASDAQ	5,383.12	▲ 48.97		日本10年債	0.0460	0.6bp
S&P	2,238.83	▲ 10.43		米国2年債	1.1883	▲2.4bp
日経平均	19,114.37	▲30.77		米国5年債	1.9274	▲2.6bp
TOPIX	1,518.61	0.22		米国10年債	2.4443	▲3.1bp
シカゴ 日経先物	19,110.00	20.00		独10年債	0.2080	3.3bp
ロンドンFT	7,142.83	22.57	為替市況	英10年債	1.2390	0.4bp
DAX	11,481.06	30.01		豪10年債	2.7650	▲1.3bp
ハンセン指数	22,000.56	209.65		USD/CNH	6.9761	0.0121
上海総合	3,103.64	7.54	商品市況	ドルインデックス	102.21	▲0.47
USDJPY 3M Vo	12.87	▲0.13%		CRB指数	192.512	▲0.39
USDJPY 6M Vo	12.70	▲0.00%		NY金	1,151.700	▲6.40
EURJPY 3M Vo	12.17	▲0.08%		WTI	53.720	▲0.05
EURJPY 6M Vo	13.67	0.02%		Dubai Spot	53.99	0.67

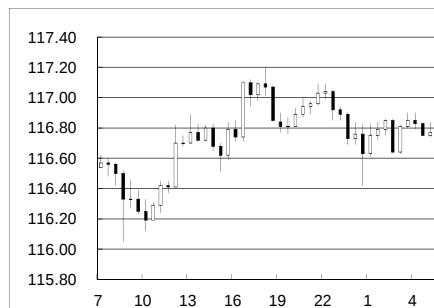
【昨日の指標等】

Date	Time		Event		結果	予想
12月30日	23:45	米	シカゴ購買部協会景気指数	12月	54.6	56.8
1月1日	10:00	中	製造業PMI/非製造業PMI	12月	51.4/54.5	51.5/-
	17:55	独	マークイット製造業PMI・確報値	12月	55.6	55.5
	18:00	欧	マークイット製造業PMI・確報値	12月	54.9	54.9

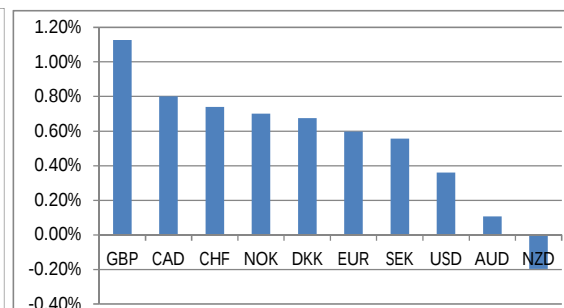
【本日の予定】

Date	Time		Event		予想	前回
1月3日	18:30	英	マークイット製造業PMI	12月	53.3	53.6
	22:00	独	消費者物価指数・速報値(前月比/前年比)	12月	1.4%/0.6%	0.8%/0.1%
	22:00	独	EU基準CPI(前月比/前年比)	12月	0.6%/1.3%	0.0%/0.7%
	23:45	米	マークイット製造業PMI	12月	54.2	54.2
1月4日	0:00	米	ISM製造業景況指数	12月	53.8	53.2

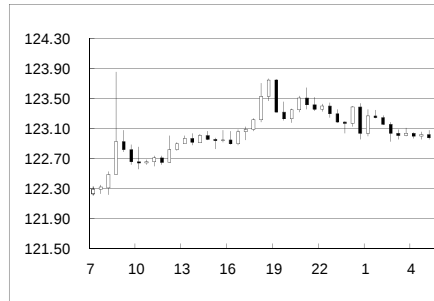
【ドル円相場】



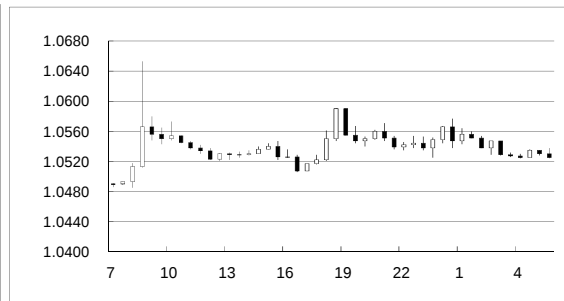
【対円騰落率(日次)】



【ユーロ円相場】



【ユーロドル相場】



東京	朝方の流動性の薄い相場の中、ユーロドルが1.04台後半から1.0652まで急騰。対ユーロでのドル売りがドル円にも波及したと見られ、ドル円は一時116.05まで下落した後、116.33レベルで東京時間オープン。116円台前半での動意に乏しい推移が続いたが、その後特段の材料ない中で買いが強まり116円台後半まで上昇。日経平均株価がプラス圏に浮上したこと等から116円台後半での推移が続いたが、日経平均株価が引けにかけて再びマイナス圏まで沈む展開となるとドル円も上値が重くなり、結局116.62レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場は年末年始の休暇を控え動意薄。ドル円は116.62レベルでオープン。市場参加者少なく閑散とした取引が続く、117円台を挟んでの方向感のない動きとなった。117.05レベルでニューヨークへ渡った。ポンドドルは1.2278レベルでオープン。材料難の中、調整の買いに約1週間ぶりの高値1.2332を付けた後、1.2312レベルにてニューヨークに渡った。尚、ノット・オー・オーストラリア中銀総裁が「ECBの緩和的な金融政策は継続が予想されるが、無限に続くわけではない」と指摘するも市場への影響は限定的となった。(ロンドン・ルブリ 00531 444 179 西海)
ニューヨーク	NY時間のドル円は117.05レベルでオープン。朝方発表された米12月シカゴ購買部協会景気指数は予想を下回ったが、市場への影響は限定的。ロンドンフィックスにかけてはドル売りが強まり、ドル円は116.42まで下落するが、すぐに116.80付近まで反発。その後は年内最終日となり債券市場が取引短縮になる等市場参加者が少なくなる中、116.70-90での推移が続く。ドル円は117.07レベルでクローズした。一方ユーロドルはオーストラリア時間にアルゴリズム関連と思われるユーロ買いが入り1.0652まで急伸するが、1.05台半ばまで値を戻し1.0539でNYオープン。ロンドンフィックスにかけてドル売りが強まり1.0580付近まで上昇するが、その後はポジション調整のユーロ売りが強まり軟調な推移となり、1.0522レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。